

ALTERNATIVE KYOTO KYOTO

日本博京都府域展開

アート・プロジェクト

alternative-kyoto.jp

もうひとつの京都

ARTISTS

梅田 宏明

NONOTAK

moshimoss

Lighting: Shiko Nagamachi Photo: Yasunori Shimomura

太古から未来へと続くみち

The way goes from ancient to the future

光のアトリエ

Artspace of the Light
〈京都府北部展開事業〉

9月13日(金) - 11月4日(月・祝) 18:00 - 21:00

メディアアート・フェスティバル
Kyoto Media Art Festival

元伊勢籠神社 | 入場無料(作品展示及びライブパフォーマンス共に)

金・土・日・祝日のみ公開(10月21日(月)は臨時公開)

※9月13日(金)-23(月・祝)は梅田宏明のみ展示/10月18日(金)-11月4日(月・祝)はNONOTAKのみ展示

《intersection ~交差点~》梅田 宏明(ビジュアル・アーティスト/振付家/ダンサー)

《LEAP 2》NONOTAK(メディアアートユニット)

ライブパフォーマンス
9月28日(土) 17:30-20:00(開場17:00) ※雨天29日(日)順延
《朧月夜 Oborozukiyo》NONOTAK/moshimoss(音楽家)

問合せ先 天橋立駅観光案内所 〒626-0001 京都府宮津市宇字珠314番地の2 天橋立ターミナルセンター内
TEL 0772-22-8030 FAX 0772-22-8710(ご案内時間 9:00-18:00)

INQUIRY Amanohashidate Station Tourist Information Center 314-2 Monju, Miyazu, Kyoto, JAPAN
TEL 0772-22-8030 FAX 0772-22-8710 (Office Hours 9am - 6pm)

主催
「海の京都」天橋立地区協議会/京都府

SPONSORS

Amanohashidate Area
Association, Agency for Cultural Affairs,
Kyoto Prefecture



平成21年度日本博を契機とする文化芸術コンテンプ育成事業

alternative-kyoto.jp/digital

The way goes from ancient to the future

DATE

Sept. 13 (Fri) - Nov. 4 (Mon) 6pm - 9pm
Sept. 13 - 23 / Hiroaki Umeda Exhibition only
Oct. 18 - Nov. 4 / NONOTAK Exhibition only
※Open only Fri., Sat., Sun. & National holiday
(temporary opens: Oct. 21, Mon)

VENUE

Motoise Kono Shrine / Admission: Free

日本三景の一つ天橋立エリアを、「太古から未来へと続くみち」のテーマの下、光や映像、サウンドを用いたデジタルアートによる幻想的な世界に演出します。日本の国生み神話の故郷でもある天橋立は、その成り立ちの伝説の中で、光がとても重要な役割を果たしています。二柱の神様が、「智慧」の力であらうみを鎮め、生まれた島(天橋立)に天人が下りて火を置き、その火明かりに導かれるように土地が平和になった、という伝説は、天橋立の地に、「光」が希望の象徴として、目には見えないけれども存在していることの証といえます。「太古から未来へと続くみち」という、目には見えない「みち」のイメージを、天橋立の聖地、元伊勢籠神社参道に、世界で活躍するメディア・アーティスト、梅田宏明とNONOTAKが「光のみち」「光の海」を現出させます。また、境内の神門から参道を舞台に、展示インスタレーション作品を用いた、NONOTAKによるライブパフォーマンスとmoshimossによる叙情的で追憶にふけるようなサウンドスケープにて、次々と折り重なる深淵のアンビエンスを拡げます。

On this occasion, Amanohashidate, which is one of the three most scenic spots of Japan, will be transformed into a dream-like atmosphere with light, video projection, and sound-based digital art on the theme of "The way goes from ancient to the future." According to legend, Amanohashidate is the place where the country of Japan was born. In the legend, light plays an important role. The legend tells of a time when two gods used the tool of "wisdom" to calm the rough oceans, and here the island of Amanohashidate appeared. The spirits came down and put fire on the island, and the land gained peace led by the light. This story indicates that the "light" of Amanohashidate exists as a symbol of hope, even though it is not visible to us. The internationally known media artists Hiroaki Umeda and NONOTAK will "take the way from ancient to the future" which represents the image of the "invisible path" as their inspiration. They will create artworks called "The Light Path" and "The Sea of the Lights" at the approach to Motoise Kono Shrine, which is known as the sacred place of Amanohashidate. The Motoise Kono Shrine is the highest-ranked shrines of the old Tango area. The approach to the shrine and the gate will be used as a stage for the two artists. NONOTAK will perform a special live program with the art installation, while moshimoss will create a layered atmosphere through lyrical and nostalgic soundscapes.

関連イベント

《groovisions (デザイン集団) 作品展示》
9/13 (金) - 11/4 (日・祝) 18:00 - 21:00

天橋立廻旋橋

グルーヴィジョンズ / groovisions
東京のデザインスタジオ。1993年京都で設立。ビジュアル・ファイブのステージ映像、オリジナルキャラクターのチャッピーなどで注目を集める。1997年に拠点を東京に移転。以来グラフィックやモーション・グラフィックを中心に様々なデザインを手掛ける。



《成相寺紅葉ライトアップ×ライゾマティクス
齋藤精一氏 光によるスペシャル演出》
11/9 (土) - 10 (日) 日没後 - 21:00

成相寺

www.amanohashidate.info/nariaiji/

《天橋立まち灯り～光に浮かぶ天橋立～》

www.facebook.com/

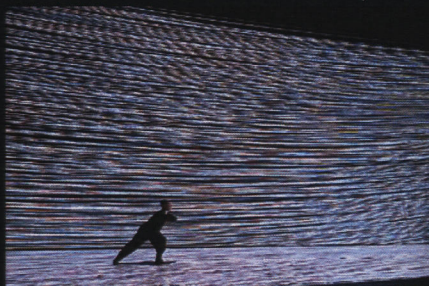
amanohashidate.machiakari

梅田 宏明

HIROAKI UMEDA

ビジュアル・アーティスト
振付家 / ダンサー

photo: S20



2002年より自身の振付作品がハリウッド・国立劇場など世界各地に招聘され、これまでの公演先は世界40か国/150都市以上に上る。作品では振付、ダンスだけでなくサウンド・映像・照明デザインも手掛け、テクノロジーアートや音楽の分野などでも多く上演されている。身体的感覚にフォーカスしたインスタレーションも制作しており、映像作品は2018年、21_21 DESIGN SIGHTの「AUDIO ARCHITECTURE展」で展示されたほか、ダンス作品を元に制作されたドーム型映像作品はドイツのFullDome Festival受賞、その他世界のフェスティバルで上映されている。

hiroakiumed.com

展示のみ

NONOTAK

ノノタック

メディアアートユニット

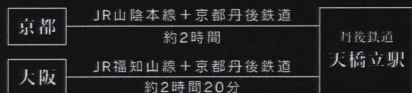


イラストレーター Noemi Schipfer と建築家ミュージシャンの Takami Nakamoto によるアートユニット。2011年ハリで結成。幾何学的な光に音楽をシンクロさせ、没入感のある夢のような環境を生み出す作品を次々に発表し、結成後すぐにメディアアート界の新星として世界中から注目を集める。2015年、TATE BRITAINで作品を発表。日本では、六本木アートナイト2014での展示やMUTEK.JPへの出演、2017年、世界遺産「清水寺」にて奉納演奏を行った他、ニュー・ブランシュ KYOTO 2018 では京都国立近代美術館でインスタレーションとライブパフォーマンスを行った。また、作品は、国際的なブランドプロモーションに活用される機会も多く、現在、世界で最も勢いのあるメディアアートユニットである。

www.nonotak.com

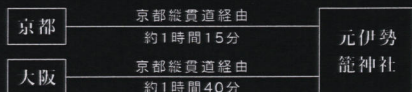
展示及びライブパフォーマンス

電車でのアクセス



※天橋立駅からの詳しいご利用方法は「月後海陸交通」へお問い合わせください

車でのアクセス



※9月28日(土)のライブパフォーマンスは無料臨時駐車場(府中小学校)をご利用ください



moshimoss

モシモス

音楽家



Kosuke Anamizu 名義でドイツの Traum Schallplatten や mule electronic からミニマルハウス・ダブ等の作品をリリース後、moshimoss 名義をスタート。米の dynamophone records、nothings66 からアルバムをリリース。L.E.D. feat. 原田郁子の「U」の Remix EP、matryoshka の Remix Album に参加する等リミックスワークも多数手がける。2012年には moshimoss として Fujirock Festival'12 への出演。その後、米の n5md より Preghost 名義で「Ghost Story」をリリース。2016年には、Shewasasca 名義で他の Traum Schallplatten からのリリースをきっかけにダンスミュージック制作を新たにスタートした。

kosukeanamizu.com

ライブパフォーマンスのみ